

11月12日公開

## 第4回 アール セ ッ プ RCEPが発効

RCEPはち いきほうかつてきけいざいれんけい東アジア地域包括的経済連携というイービーイー経済連携協定（EPA）の略称です。経済連携協定とは、国と国とが約束し、おたがいに物・人・お金を自由に移動できるようにする取り決めです。この取り決めが2022年1月1日に発効することが、2021年11月2日に決まりました。

しよこく東南アジア諸国連合（ASEAN）ア セ ア ン加盟国10か国にくわえて、か めいこく日本・中国・韓国・オーストラリア・ニュージーランド・インドがこの取り決めに関するこうしやう交渉を続けてきました。しかし、インドは国内産業を守るとして署名を見送り、インド以外の15か国が2020年11月に合意し、署名しました。この15か国の人口と国内総生産の合計は世界の約3割を占めており、イーユーEU（ヨーロッパ連合）やティービービーTPP（かんたいへいよう環太平洋パートナーシップ協定）を上回ります。また、日本にとって最大の貿易相手先である中国、第3位である韓国との間の初めての経済連携協定です。

なお、日本・オーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・マレーシア・ベトナム・ブルネイは、RCEPとTPPの両方に参加しています。

RCEPに参加する国どうしの貿易では、てっばい関税が撤廃されたり、引き下げられたりすることになります。